

令和3年9月28日

亀岡市議会議長 福井 英昭 様

発議者 西口 純生

木曾 利廣

三上 泉

山本 由美子

決議案の提出について

別紙決議案を議決されたく、亀岡市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

亀岡市域及び以北の地域鉄道の維持・充実を求める決議（案）

本年7月28日にJR西日本は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、利用減少にあわせて列車を削減し、山陰本線（園部～胡麻駅間）の土日休便の4本の運転を減便するとの報道があった。また令和4年春ダイヤ改正で、山陰本線を含めた昼間における列車削減を検討されていることも表明された。

いうまでもなく地域鉄道は、鉄道利用者、沿線居住者のみならず社会に大きな意義を持つ公共性の高いものである。このため日々、通勤や通学など市民の生活基盤として利用されている路線が減便された場合、沿線住民に大きな影響を与えることは必至である。

亀岡市議会においては、かねてから亀岡市、南丹市及び京丹波町の各市町長、議会議長等で組織する京都丹波基幹交通整備協議会において、京都中部地域における基幹交通の充実について、また山陰本線の園部駅以北の複線化やさらなる利用促進と利便性向上を図るため、要望活動を行っているところである。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が顕著になり出した昨年来、地域経済の動きを停滞させてはならないとの思いから、丁寧に地域住民の声を聞き、それを様々な地域経済活性化のための施策に結びつけてきたところである。

市民や事業者も、そうした支援策を活用しながら、新型コロナウイルスの猛威に立ち向かっているところであるが、今般の減便の発表により、地域住民に不安を与え、地域経済に暗い影を落とすことを危惧している。

コロナ禍の影響を乗り越え、地域に賑わいを取り戻すためには、地域鉄道の維持・充実が不可欠であることから、次の諸点について取組を求めるものである。

- 1 運行間隔の大幅な拡大につながる列車の削減を取りやめ、利用者の乗車機会を確保すること。
- 2 ダイヤ改正にあたっては、沿線自治体に対し十分な説明を行い、協議の場を設けること。
- 3 万が一列車の削減を行うにあたっては、最小限とするとともに、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う暫定措置とし、収束後の状況を鑑みダイヤの復活を行うこと。
- 4 市民の生活基盤を守るため、引き続き、沿線自治体及び他の交通機関等と連携し、地域交通の維持・充実に努めること。
- 5 利便性向上と地域発展、地域間の格差是正のためにも、胡麻駅以北の全駅へのICカードシステムの導入を早期に行うこと。

以上、決議する。

令和3年9月28日

亀岡市議会